

世界の人々のよりよい生活を目指して —「食と健康」を中心とした国際協力支援活動—

味の素(株) 広報・CSR部
社会貢献担当 金田奈津子



野菜の苗を育てる参加者たち(スリランカ)
(写真提供・ジェン)

「私たちは、地球的な視野にたち、“食”と“健康”、そして明日のよりよい生活に貢献します」
——これが、味の素グループ理念である。

経営戦略としての「社会貢献活動」

1998年に社会貢献チームを設置、そして創業90周年にあたる翌年(99年)には社会貢献活動を拡充するため、活動理念および方針を設定、同時に全社的な活動推進の母体として、役員ほか関連する部門長からなる「社会貢献推進委員会」が設置された。背景となったのは、同年「食品・アミノ酸系の日本から出発した世界企業」を目指し策定された3カ年経営計画主要戦略である。それは5つの柱[1. 連結経営の推進、2. ブランド戦略の強化、3. 世界一のコスト競争力の確立、4. 研究・開発体制の構築、5. 社会への貢献]から成り、この内第5番目の戦略をグローバルな視野から実践する活動のひとつとして、「AINプログラム」(AIN=Ajinomoto International Cooperation

Network for Nutrition & Health [味の素『食と健康』国際協力ネットワーク])を立ち上げることとなった。

AINプログラム

AINプログラムでは「主に開発途上国の発展の一助とするために『食・栄養・保健分野』の課題を明確にし、それらの改善活動を通じて人々の生活の質の向上を実現すること」を目的に、国内外の非営利組織(NPO/NGOなど)が実施する国際協力活動への支援をおこなっている。99年より今日までに、アジア・南米を中心とした10カ国で計28の栄養改善などのプロジェクトを支援してきた(その内、8件は現在継続支援中)。

本プログラムの運営にあたっては、外部有識者からなるアドバイザー組織を設置した。大学教



村の保健所で栄養補助食を食べる子どもたち(インドネシア)
(写真提供: Community Based Rehabilitation Development and Training Center)

授、国連／NGO 関係者など国内外で活躍する専門家をメンバーとし、(1) 現地活動の支援、(2) 人材育成（研修）の支援、(3) 人・情報ネットワークづくりの支援などを実施するための様々なアドバイスをいただくためである。

プログラム立ち上げ当初はアドバイザー組織から提出された推薦プロジェクトについて選考をおこない、支援先を決定していたが、年々寄せられてくる多様なニーズに対してより公平性・透明性をもって応えるために、2004 年度から一般公募によるプロジェクトの募集を開始した。選考は①アドバイザー組織による第一次審査（候補案件の選考）、②事務局（味の素㈱社会貢献担当者）による現地視察、③社会貢献推進委員会による最終承認の3段階に分かれ、それぞれのプロセスで関連する地域の海外法人・事務所との情報・意見交換がおこなわれている。とくに②現地視察において、当該国の状況を把握している現地従業員の同行は、申請プロジェクトを現地の視点から選考する重要性の他に、従業員自身はその国の課題について向き合い社会への意識を高めること、そしてそのような課題に対して取り組んでいる自社に誇りを持ち、日々の業務をおこなう上でのモチベーション向上に繋がることも期待されている。

現地ベースの主体的活動も増加

支援開始後は実施団体へプロジェクトの運営・管理を委任しているが、昨今一部のプロジェクトでは海外法人が実施団体の現地担当者とともに活動計画を検討したり、「食」「栄養」関連の専門的なアドバイスをおこなったり、物品を提供したりなど、資金面以外で積極的に関わる動きが出てきた。これは、とくに当地出身の従業員が、自国の課題を自身の問題として深く受け止めていることがひとつの大きな理由だと考えている。

会社として、従業員が安定した気持ちで働けるようにその国・地域の課題を改善する姿勢を示すことは、会社と地域社会のみならず、会社と従業員との間の信頼の糸をも紡ぎだすことになると信じている。



村の食物を題材に文字や算数の勉強をする子どもたち(タイ)
〈写真提供・地球市民 ACT かながわ〉

一方、支援先の団体からは「従来のプロジェクトではあまり意識していなかった『食』や『栄養』に関わる活動を実施することにより、住民の生活向上に新しい効果が見えてきた」「『食』や『栄養』に関わるモデル的なプロジェクトとして、地元政府から高い評価を受けている」など、本プログラムの意義を評価していただいている。

「食と健康」を通じてよりよい明日へ

21 世紀が豊かで希望に満ちた世紀でありたいということは世界共通の願いである。2000 年 9 月にニューヨークで開催された国連ミレニアムサミットでは、21 世紀の国際社会の目標として「平和と安全」「開発と貧困」「環境」などに関わる国連ミレニアム宣言が採択され、その後 2015 年までに達成すべき 8 つの開発目標 [ミレニアム開発目標 [MDGs]] が提示された。その中には「極度の貧困と飢餓の撲滅」「乳幼児死亡率の削減」「妊産婦の健康の改善」など、「食と健康」に関わる目標も多く含まれている。

私たち味の素グループは真のグローバル企業を目指し、世界の人々の生活の質の向上のため、これからも人々のよりよい明日につながる国際協力支援活動を実りあるものにしていきたいと考えている。

◆味の素グループの社会貢献活動

<http://www.ajinomoto.co.jp/company/kouken/>